

平成30年度 第3回 経営協議会議事概要

日 時 平成30年12月25日(火) 16:00～17:20
場 所 レンブラントホテル大分 2階 久住の間
出席者 別紙のとおり

議事概要の確認

平成30年度第2回経営協議会議事概要(案)を確認した。

議事に先立つ報告

医学部看護学科におけるハラスメント事案について(資料1)

学長から、資料に基づき報告があった。

議 題

1 人事院勧告への対応とそれに伴う人事関係規則の一部改正について(資料2-1～2)

津村理事から、資料に基づき説明があり、審議の結果これを了承した。

このことについて、委員から次の質問があった。

学外委員：平成29年度において、前年比教員人件費がマイナス1.6%、職員人件費がプラス2.8%となっているが、どのような状況になっているのか。

津村理事：本学は、他大学に比べ医員数が多くそれを是正するため医員数を減少させたことが影響している。病床稼働率が、以前は86%だったが、現在88%程度となり、7:1看護を実施するためその対応としての看護師の増員、手術室の増加に伴う手術件数の増加に対応するため看護師を増員した。

2 国立大学法人大分大学職員就業規則等の一部改正について(資料3-1～3)

津村理事から、資料に基づき説明があり、審議の結果これを了承した。

報 告

1 大分大学創立70周年記念事業について(資料4)

学長から、資料に基づき報告があった。

2 福祉健康科学研究科(仮称)の設置構想について(資料5)

津村理事から、資料に基づき報告があった。

3 平成29年度に係る業務の実績に関する評価結果について(資料6-1～4)

津村理事から、資料に基づき報告があった。

4 平成29事業年度財務報告書について(資料7)

学長から、財務報告書は、財務諸表の内容をよりわかりやすく解説するパンフレットとして作成したもので、持ち帰りの上、一読願いたい旨の発言があった。

5 平成30年度収入・支出補正予算書（第1次）について（資料8-1~2）

伊豆島理事から、資料に基づき報告があった。

6 附属病院の収支見込みについて（資料9-1~2）

門田病院長から、資料に基づき報告があり、委員から次の質問があった。

学外委員：医療材料や薬剤に関わる物件費について、全国との対比はどうなっているか。

病院長：他県に比べて、本院は少し高めである。全国は39%前後であるが、本院は41%前後で推移している。特に、循環器系診療科の材料費が高額であるため、現在、各診療科のヒアリングを実施し、メーカー間で価格競争をさせて、医療材料費を下げるように伝えているところである。病院の総収入が200億円近いため、医療材料費が1~2%削減できれば2億円前後は浮くと考えられる。

学外委員：格差があると理解しているので、平均値というよりかなり低いところで目標を達成していただきたい。

病院長：メーカー特有の材料の場合は価格を下げるできない面もあるが、この点も含めて高いことには変わらないので、下げる努力が必要だと考えている。

7 経営協議会の学外委員からの御意見に対する取組状況について（資料10）

津村理事、越智理事及び西園理事から、資料に基づき報告があった。

8 大分大学の活動状況について（資料11）

学長から、資料に基づき報告があった。

最後に、学外委員から次のとおり発言があった。

学外委員：財務関係の資料には、前年比較の数値を記載していただきたい。

伊豆島理事：是非そのように資料を作成したい。附属病院の収支見込（補足資料）についても、来年はもう少しバージョンアップさせたい。

学外委員：医学部附属病院は開院後地域の中心的な役割を果たしており、大学は地域の教育機関としての役割を担っている。この会議において、大学に対して提言をしていきたい。

学外委員：大分大学は、地域の知と文化の拠点である。ローカル性を生かしていくべきだと考える。地域のマグネットユニバーシティとして進化していくことを期待している。

学外委員：高等教育の無償化及び幼児教育の無償化の抱き合わせに消費税の2%引き上げが予定されている。私が所属する学校法人では、再来年の4月を目指して授業料の引上げを検討していく必要があると考えている。国立大学では、既に東京工業大学等が、消費税の引上げを待たずに授業料の引上げの実施を決定している。大分大学では、どのタイミングで、どのようなスケジュールで授業料の引上げの検討を考えているか。

学 長：可能な限り、多様な方々に入学していただきたい、また、地域の生活水準も考慮すれば、現時点での授業料の引上げは考えていない。

学外委員：大分大学は、まさしく改革すべき時期にあるので是非頑張ってください。

学外委員：病院としての悩みが2つある。1つは、働き方改革であり、大分大学での改革状況を見ながら少しずつできるところから、県立病院も進めていきたい。もう1つは、医師の確保である。県立病院には、これまで様々な大学から医師が派遣されていたが、各大学の制度が変わってきており、他県の基幹病院に派遣することが難しい状況になっている。このような状況にあって、県立病院は大分大学に派遣を依頼し、対応いただいているためすぐに困ることはないが、将来的に心配な点である。大分大学には、医師の養成により大分県の医療を支えていただきたい。

学外委員：大分大学のすべての学部から、地元の企業等に人材が供給されている。しかしながら、地元企業での採用が少ないため、優秀な学生が県外に流出してしまっている。地方創生の時代であるから、魅力ある大分を創り、人材を確保することが理想である。優秀な人材が大分に残っていただき、そして大分がますます地方として発展することを願っている。

説明資料

平成30年度第2回経営協議会議事概要（案）

資料1 新聞記事（医学部看護学科ハラスメント案件）

資料2-1 人事院勧告への対応とそれに伴う人事関係規則の一部改正について

資料2-2 人事院勧告への対応に伴う本学改正関係規程等一部改正案

資料3-1 職員就業規則等の一部改正について

資料3-2 国立大学法人大分大学職員就業規則等の一部改正案

資料3-3 国立大学法人大分大学に勤務する職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規程の一部改正案

資料4 大分大学創立70周年記念事業について

資料5 「福祉健康科学研究科（仮称）」の構想（案）

資料6-1 平成29年度に係る業務の実績に関する評価の結果について（通知）

資料6-2 平成29年度に係る業務の実績に関する評価結果（国立大学法人大分大学）

資料6-3 国立大学法人等の平成29年度評価結果について

資料6-4 国立大学法人・大学共同利用機関法人の平成29年度に係る業務の実績に関する評価結果について（所見）

資料7 平成29事業年度財務報告書

資料8-1 平成30年度収入・支出補正予算書（第1次）（概要）【回収資料】

資料8-2 平成30年度収入・支出補正予算書（第1次）【回収資料】

資料9-1 附属病院第3期収支見込

資料9-2 附属病院第3期収支見込（補足資料）

資料10 経営協議会の学外委員からの御意見に対する取組状況について

資料11 大分大学の活動状況